

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

古館駅前地区

令和6年5月

岩手県紫波町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	地区内に流入した居住人数	人	626	635	689	確定		○	あり	●	703	R6年4月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	空家等対策、古館駅前広場等整備、商業施設進出、矢巾町への大学附属病院の移転により地区流入人口が増加した。
指標2	デマンド型乗合バス利用者数	人(延べ)/年	886	1,171	2,719	確定		○	あり	●	2,828	R6年5月	○	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	デマンド型で便利な予約等や、利用ニーズに合わせた増便と、地区流入人口の増加により、利用者が増加した。駅前広場整備により駅前での乗降が快適になった。
指標3	自転車歩行者専用道路の交通量	人/日	5	79	92	確定	●	○	あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	主要な施設へのアクセスルートとなり安全で歩きやすいことと地区流入人口の増加が交通量の増加につながった。
指標4						確定			あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定			あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区の空き家件数	件	33		23	確定	●			R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	古館駅前広場整備、空家等対策、商業施設の進出及び矢巾町への大学付属病院移転により空き家が減少した。
						見込み								
その他の数値指標2						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定				R 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地区流入人口の確保	・第2期紫波町空家等対策計画に基づき空家等の予防と適正管理や有効活用取り組みとして、リーフレットを作成し周知を図った。	・R6年度で利活用にかかる空き家バンクの登録者は、本地区において0件である。	・引き続き、第2期紫波町空家等対策計画に基づき取り組む。 ・空き家バンクについての周知方法を再検討する。
	公共施設の日常の維持における住民参加の継続	・施設（駐輪場、駅前広場）の維持管理及び清掃について、地元で組織する古館駅周辺協議会と協議した。	・清掃業務として古館駅周辺協議会に委託契約を締結し定期的な清掃活動に取り組んでいる。	・引き続き、地元で組織する古館駅周辺協議会と協働して施設（駐輪場、駅前広場）の維持管理及び清掃に取り組む。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	今後も発生が予想される空き家への対策	・第2期紫波町空家等対策計画に基づき空家等の予防と適正管理や有効活用取り組みとして、リーフレット作成し周知を図った。	・R6年度で新規に空き家を登録した物件は、本地区において0件である。	・引き続き、第2期紫波町空家等対策計画に基づき取り組む。
	地域交流の促進	・第2期紫波町空家等対策計画に基づき空家等の予防と適正管理や有効活用取り組みとして、リーフレットを作成し周知を図った。	・R6年度で利活用にかかる空き家バンクの登録者は、本地区において0件である。	・空家等対策を継続し地区流入人口の増加を図る。 ・地区周辺にある文化財等の観光を通じ、地域の魅力向上と郷土愛の醸成につながる賑わいの創出の取り組みにより、地域交流の活性化を図る。
	バスシェルター・バス乗り場の有効利用	・バス乗り場について、路線バス等の乗り入れが決まるまでの間、デマンド型乗合バスや一般送迎車両による利用の周知を図る。	・デマンド型乗合バス及び一般送迎車により利用される。	・特になし。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項